



Copyright © 2017 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の内容
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. その他
- 3. 概要
 - 3.1. ReportBuilderとは？
 - 3.2. メリット
- 4. 設定方法
 - 4.1. ReportBuilder定義
 - 4.1.1. 概要
 - 4.1.2. 基本設定
 - 4.1.3. 遷移先設定
 - 4.1.4. 拡張設定
 - 4.1.5. 検索設定
 - 4.1.6. 一覧設定
 - 4.1.7. エクスポート設定
 - 4.1.8. エクスポートジョブ設定
 - 4.1.9. サーフィス設定
 - 4.1.10. Sample
 - 4.2. 検索用SQL
 - 4.2.1. 概要
 - 4.2.2. 一覧表示部分SQL
 - 4.2.3. 検索条件部分SQL
 - 4.2.4. ソート部分SQL
 - 4.2.5. Sample
 - 4.3. 設定の流れ
 - 4.3.1. 要件
 - 4.3.2. 検索用SQL作成
 - 4.3.3. ReportBuilder定義作成
 - 4.3.4. 動作確認
 - 5. API
 - 5.1. REST API
 - 5.1.1. REST APIについて
 - 5.1.2. エンドポイントプレフィックス
 - 5.1.3. リクエストパラメータ共通仕様
 - 5.1.4. レスポンスデータ共通仕様
 - 5.1.5. エンドポイント
 - 6. リファレンス
 - 6.1. 指定可能なエレメントタイプと属性値
 - 6.1.1. intra-mart Accel Kaiden!標準のフィールドタイプ
 - 6.2. 検索設定項目値のコンバート
 - 6.3. 指定可能なジョブパラメータ
 - 6.3.1. エクスポートジョブで指定可能なパラメータ
 - 6.3.2. パラメータの優先度
 - 6.3.3. ファイルパスの置換文字列
 - 6.4. ドリルダウン
 - 6.5. 一覧設定項目値のコンバート
 - 6.6. 2.0.12以前のバージョン(SAStruts+S2JDBC)から2.0.13以降のバージョン(SpringMVC+Mirage-SQL)へアップデートする際の注意点
 - 6.6.1. 概要
 - 6.6.2. ReportBuilder定義

- [6.6.3. 検索用SQL](#)
- [6.6.4. 動作確認](#)
- [6.6.5. Java、JSPソース](#)

改訂情報

変更年月日	変更内容
2017-10-01	初版
2018-04-01	第2版 以下を変更しました。 本書の構成や記載内容を整備
2019-04-01	第3版 以下を変更しました。 本書の構成や記載内容を整備 <ul style="list-style-type: none"> ▪ ドリルダウンを追加しました。
2019-08-01	第4版 以下を変更しました。 本書の構成や記載内容を整備
2020-12-01	第5版 以下を変更しました。 本書の記載内容を整備
2022-12-01	第6版 以下を変更しました。 本書の記載内容を整備 <ul style="list-style-type: none"> ▪ はじめにを修正しました。 ▪ 設定方法を修正しました。 ▪ APIを追加しました。 ▪ 一覧設定項目値のコンバートを追加しました。 ▪ 2.0.12以前のバージョン(SAStruts+S2JDBC)から2.0.13以降のバージョン(SpringMVC+Mirage-SQL)へアップデートする際の注意点を追加しました。
2023-04-01	第7版 以下を変更しました。 本書の記載内容を整備
2023-06-30	第8版 以下を変更しました。 本書の記載内容を整備
2023-12-22	第9版 以下を変更しました。 本書の記載内容を整備
2024-04-01	第10版 以下を変更しました。 本書の記載内容を整備
2024-08-31	第11版 以下を変更しました。 本書の記載内容を整備 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 設定方法の「基本設定」を修正しました。 ▪ 設定方法の「拡張設定」を修正しました。 ▪ 2.0.12以前のバージョン(SAStruts+S2JDBC)から2.0.13以降のバージョン(SpringMVC+Mirage-SQL)へアップデートする際の注意点を修正しました。

はじめに

本書の内容

本書では、次の様な構成でReportBuilderを使用したレポート機能の構築方法や拡張方法を記載しています。

- **概要**
ReportBuilderの概要やコンセプトを記載しています。
- **設定方法**
ReportBuilderの設定方法を記載しています。
- **リファレンス**
本書のリファレンスを記載しています。



コラム

本書では、特に記載のない限り次の製品（バージョン）を前提に記載しています。

- intra-mart Accel Platform 2022 Winter
- intra-mart Accel Kaiden! Core Module 2.0.13

対象読者

本書では次の読者を対象としています。

- intra-mart Accel Kaiden! の開発者

その他

- 本書内で記載されている外部URLは、2024年4月現在のものとなります。

概要

本項では、ReportBuilderの概要を説明します。

- [ReportBuilderとは？](#)
- [メリット](#)

ReportBuilderとは？

ReportBuilderとは、intra-mart Accel Kaiden!のレポート機能を「設定ファイル+検索用のSQL」で実現するための機能です。

「設定ファイル+検索用のSQL」以外にも各所に拡張ポイントを設け、カスタマイズ性も考慮しています。

次項以降では、基本的な設定方法や検索用SQLの作成方法、各機能に応じたカスタマイズポイント等を解説します。

メリット

ReportBuilderを利用することで次の様なメリットが生まれます。

- **要件確定後の仕様変更抑止**
従来ExcelやHTMLで作成していたモックアップと同様に簡単に画面構築が可能なため、要件定義時に実際に動作する画面を確認することができ、後続フェーズでの仕様変更を抑止することができます。
- **仕様変更への柔軟な対応**
構築後に仕様変更があった場合でも、設定により各機能の対応が行えるため、再構築による手戻りを低減できます。

設定方法

本項では、ReportBuilderの設定方法を説明します。

ReportBuilder定義

本項では、ReportBuilderの設定ファイル（以降、ReportBuilder定義）の作成方法を説明します。

- 概要
 - ReportBuilder定義
 - ReportBuilder定義の配置先
- 基本設定
- 遷移先設定
- 拡張設定
- 検索設定
- 一覧設定
- エクスポート設定
- エクスポートジョブ設定
- サーフィス設定
- Sample

概要

ReportBuilder定義

ReportBuilder定義は、XML形式で次の設定を行います。

設定名	概要
基本設定	レポートの基本となる設定です。（ID、名称など）
遷移先設定	レポートの遷移先を指定する場合の設定です。
拡張設定	レポートを拡張する場合の設定です。 (設定だけでは実現できない場合などに使用します。)
検索設定	レポートの検索条件の設定です。
一覧設定	レポートに一覧表示する項目の設定です。
エクスポート設定	レポートをエクスポートする際の設定です。
エクスポートジョブ設定	レポートをジョブを使用してエクスポートする際の設定です。
サーフィス設定	レポート名や項目名などの設定です。

i コラム

ReportBuilder定義の全体イメージは「[Sample](#)」を参照してください。

i コラム

Ver2.0.16で、ReportBuilder定義の編集・検証が可能な機能を追加しました。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / 管理者操作ガイド](#)』 - 「運用時の操作」 - 「Builder編集」を参照してください。

ReportBuilder定義の配置先

ReportBuilder定義は次のパスに配置します。

「%ストレージパス%/kaiden/generic/report/%レポートID%.xml」

ストレージはシステムストレージ、パブリックストレージのどちらでも配置可能で、パブリックストレージが優先的に読み込まれます。
intra-mart Accel Kaiden!のReportBuilder定義は、システムストレージに配置されます。

上記の読み込み順を使用して、独自のReportBuilder定義を優先的に読み込ませることが可能です。
(テナント別にReportBuilder定義を作成したい場合も、パブリックストレージを使用してください。)

基本設定

基本設定では、ReportBuilder定義の基本となる値を設定します。

設定

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">
  <reportId>expense_info</reportId>
  <next>matter_process_info</next>
  <surfaceKey>reportName</surfaceKey>
  <resources>service://kaiden/report/expense_info</resources>

  <!-- 略 -->

</reportBuilderSettings>
```

解説

- **レポートID (reportBuilderSettings / reportId) : 必須**
定義を行うレポートのIDを設定します。（ReportBuilder定義のファイル名と必ず同一の値を設定します。）
未設定の場合、ReportBuilder定義読み込み時に読み込みエラーが発生します。
- **サーフィスキー (reportBuilderSettings / surfaceKey) : 必須**
定義を行うレポートの名称（サーフィスキー）を設定します。（実際のサーフィスは、後述のサーフィス定義で設定します。）
未設定の場合、ReportBuilder定義読み込み時に読み込みエラーが発生します。
- **タイトル非表示制御 (reportBuilderSettings / titleHide) : 任意**
定義を行うレポートのタイトルの表示有無（true,false）を設定します。
未設定の場合は、表示（false）とします。
- **ツールバー非表示制御 (reportBuilderSettings / toolbarHide) : 任意**
定義を行うレポートのツールバーの表示有無（true,false）を設定します。
未設定の場合は、表示（false）とします。
- **クエリーボタン非表示制御 (reportBuilderSettings / queryHide) : 任意**
定義を行うレポートのクエリーボタンの表示有無（true,false）を設定します。
未設定の場合は、表示（false）とします。
- **条件設定ボタン非表示制御 (reportBuilderSettings / optionHide) : 任意**
定義を行うレポートの条件設定ボタンの表示有無（true,false）を設定します。
未設定の場合は、表示（false）とします。
- **条件設定エリア表示制御 (reportBuilderSettings / optionAreaShow) : 任意**
定義を行うレポートのオプション（条件設定）エリアの表示有無（true,false）を設定します。
未設定の場合は、非表示（false）とします。



コラム

条件設定ボタン非表示制御 (reportBuilderSettings / optionHide) が非表示（true）の場合は条件設定エリア表示制御の値に関わらず非表示とします。

- **エクスポートボタン非表示制御 (reportBuilderSettings / exportHide) : 任意**
定義を行うレポートのエクスポートボタンの表示有無（true,false）を設定します。
未設定の場合は、表示（false）とします。
- **遷移先のレポートID (reportBuilderSettings / next) : 任意**
定義を行うレポートをクリックするとドリルダウンするレポートの、レポートIDを設定します。
ドリルダウンについては「[ドリルダウン](#)」を参照してください。
- **認可リソース (reportBuilderSettings / resources) : 任意**
定義を行うレポートの認可リソース（URL）を設定します。



コラム

認可判定

ReportBuilderの認可判定は次の2段階で実行されます。

1. 「ReportBuilder : service://kaiden/generic/report」に対する認可有無
2. 設定された認可リソース（URL）に対する認可有無

■ 初期検索制御（reportBuilderSettings / initialSearch）：任意

定義を行うレポートの初期検索を実行有無（true/false）を設定します。

未設定の場合は、初期検索を実行（true）とします。



コラム

以下の場合は初期検索制御の値に関わらず初期検索を実施します。

1. 保存したプライベートクエリーの内、初期検索を実施するクエリーがある
2. 検索結果の行をドリルダウンして遷移する
3. ドリルダウンして遷移した後、戻るボタンで遷移元に戻る

遷移先設定

遷移先設定では、ReportBuilderの各行をクリックした際画面遷移する設定を行います。

画面遷移が不要な場合、設定不要です。

設定

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 略 -->

<nextPage>
  <nextPagePath>kaiden/v2/generic/report</nextPagePath>
  <nextPageUrlParam>reportId=matter_process_history</nextPageUrlParam>
</nextPage>

<!-- 略 -->

</reportBuilderSettings>
```

解説

- 遷移先のレポートID（reportBuilderSettings / nextPage / nextReportId）：任意
定義を行うレポートをクリックするとドリルダウンするレポートの、レポートIDを設定します。
(reportBuilderSettings / next) と同じ設定です。
両方とも設定されている場合、当設定が優先されます。
- 遷移先URL（reportBuilderSettings / nextPage / nextPagePath）：任意
定義を行うレポートをクリックすると遷移するURLを設定します。
- URLパラメータ（reportBuilderSettings / nextPage / nextPageUrlParam）：任意
遷移するURLに渡すパラメータを設定します。
- リクエストパラメータ（reportBuilderSettings / nextPage / nextPageFormParam）：任意
リクエストパラメータを設定します。

拡張設定

拡張設定では、ReportBuilderの標準機能を拡張（カスタマイズ）する場合の拡張先の設定を行います。

拡張（カスタマイズ）を行わない場合は設定不要です。

設定

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 略 -->

<extension>
  <logic>jp.co.slcs.kaiden.v2.product_workflow.feature.logic.kaiden.generic.JournalStorageReportLogic</logic>
</extension>

<!-- 略 -->

</reportBuilderSettings>

```

解説

- **Logicクラス (reportBuilderSettings / extension / logic)** : 任意
拡張用のLogicクラスを設定します。
未設定の場合は「jp.co.slcs.kaiden.v2.base.feature.logic.kaiden.generic.impl.ReportLogic」を使用します。
- **Controllerクラス (reportBuilderSettings / extension / url)** : 任意
拡張用のControllerクラスのURLを設定します。
未設定の場合は「kaiden/v2/generic/report」のURLを使用します。
- **JSP/パス (reportBuilderSettings / extension / jsp)** : 任意
拡張用のJSPパスを設定します。
未設定の場合は「/WEB-INF/views/kaiden/v2/base/generic/report/index.jsp」のJSPを使用します。
- **検索用SQL (reportBuilderSettings / extension / sql)** : 任意
拡張用の検索用SQLパスを設定します。
未設定の場合は「META-INF/sql/jp/co/slcs/kaiden/v2/generic/report/%レポートID%.sql」を使用します。

検索設定

検索設定では、レポートの検索条件の設定を行います。

「reportBuilderSettings / search / group」階層に、検索条件のグループを設定します。

「reportBuilderSettings / search / group」階層は、1件以上の複数設定が可能です。

「reportBuilderSettings / search / group / elem」階層に、検索条件の項目を設定します。

「reportBuilderSettings / search / group / elem」階層は、1件以上の複数設定が可能です。

設定

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 略 -->

<search>

<!-- 略 -->

<group surfaceKey="gadgetId">
  <elem name="gadgetId" surfaceKey="gadgetId" type="TEXT" condition="PART_KEYWORD">
    <args>
      <arg key="style" value="width:100px;"/>
    </args>
  </elem>
</group>
<group surfaceKey="applyAuthCompany">
  <elem name="applyAuthCompanyCode" surfaceKey="applyAuthCompanyName" type="MASTER" condition="IN">
    <args>
      <arg key="masterId" value="company"/>
      <arg key="extensionId" value="expense_info"/>
      <arg key="searchType" value="select"/>
      <arg key="name" value="applyAuthCompanyCode"/>
      <arg key="viewName" value="applyAuthCompanyName"/>
      <arg key="criteria" value="{'searchCriteriaDate':'searchCriteriaDate','searchCriteriaCompany':'applyAuthCompanyCode','includeBlank':true}"/>
      <arg key="resultChain" value="{'applyAuthCompanyCode':companyCd,'applyAuthCompanyName':companyName}'"/>
    </args>
  </elem>
</group>

```

```

<arg key="resultValue" value="companyName"/>
<arg key="primaryTarget" value="applyAuthCompanyCode"/>
<arg key="refreshTarget" value="searchCriteriaDate"/>
<arg key="style"      value="width:200px; margin-right:10px;"/>
</args>
</elem>
</group>
<group surfaceKey="term">
  <elem name="period" surfaceKey="period" type="MASTER" >
    <args>
      <arg key="masterId" value="term" />
      <arg key="extensionId" value="expense_info" />
      <arg key="name" value="period" />
      <arg key="viewName" value="periodName" />
      <arg key="searchType" value="select"/>
      <arg key="criteria" value="{'division':4, 'includeBlank':true}" />
      <arg key="resultChain" value="{'startDate':startDate, 'endDate':endDate'}" />
      <arg key="resultValue" value="termName"/>
      <arg key="primaryTarget" value="periodStartDate"/>
      <arg key="style"      value="width:170px;"/>
    </args>
  </elem>
  <elem name="startDate" surfaceKey="startDate" type="TEXT_DATE" convert="TIMESTAMP"/>
  <elem name="startDateSrf" surfaceKey="dateFrom" type="SURFACE"/>
  <elem name="endDate"   surfaceKey="endDate" type="TEXT_DATE" convert="TIMESTAMP">
    <args>
      <arg key="style"      value="margin-left:10px;"/>
    </args>
  </elem>
  <elem name="endDateSrf" surfaceKey="dateTo" type="SURFACE"/>
</group>
<group surfaceKey="currencyCd1">
  <elem name="currencyCd1" surfaceKey="currencyCd1" type="TEXT" >
    <args>
      <arg key="style"      value="width:100px;"/>
    </args>
  </elem>
</group>

<!-- 略 -->
</search>

<!-- 略 -->

</reportBuilderSettings>

```

解説

- サーフィスキー（グループ）（**reportBuilderSettings / search / group @ surfaceKey**）：必須定義を行う検索条件グループの名称（サーフィスキー）を設定します。
(実際のサーフィスは、後述のサーフィスキ定義で設定します。)
未設定の場合、ReportBuilder定義読み込み時に読み込みエラーが発生します。
- 項目名（**reportBuilderSettings / search / group / elem @ name**）：必須定義を行う検索条件の項目名（HTMLのname属性値）を設定します。
未設定の場合、ReportBuilder定義読み込み時に読み込みエラーが発生します。
- サーフィスキー（**reportBuilderSettings / search / group / elem @ surfaceKey**）：必須定義を行う検索条件の各項目の名称（サーフィスキー）を設定します。
(実際のサーフィスは、後述のサーフィスキ定義で設定します。)
未設定の場合、ReportBuilder定義読み込み時に読み込みエラーが発生します。
- 固定値（**reportBuilderSettings / search / group / elem @ fixedValue**）：任意定義を行う検索条件の固定値を設定します。
- エレメントタイプ（**reportBuilderSettings / search / group / elem @ type**）：任意定義を行う検索条件のエレメントタイプを設定します。
設定値に応じて、指定可能なエレメント引数が変わります。
エレメントタイプと設定可能なエレメント属性は「[指定可能なエレメントタイプと属性値](#)」を参照してください。
- エレメント属性（**reportBuilderSettings / search / group / elem / args / arg**）：任意定義を行う検索条件のエレメントタイプに合わせた属性値を設定します。

- エレメント属性キー（**reportBuilderSettings / search / group / elem / args / arg @ key**）：必須
属性値のキーとなる項目です。エレメント引数の値と合わせて設定します。
- エレメント属性値（**reportBuilderSettings / search / group / elem / args / arg @ value**）：任意
属性値の値となる項目です。エレメント引数のキーと合わせて設定します。
- バリデート設定（**reportBuilderSettings / search / group / elem / validates / validate**）：任意
定義を行う検索条件のバリデート方法を設定します。
- バリデート引数（**reportBuilderSettings / search / group / elem / validates / validate @ args**）：必須
定義を行う項目のバリデート引数をJSON形式で設定します。
「type」にはバリデーションIDを設定します。
「args」にはバリデーションの引数を設定します。（MasterBuilderバリデーションの場合のみMap形式となる様に設定します。）
設定可能なバリデートは、『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「リファレンス」 - 「バリデート処理」を参照してください。

例) 必須チェック

```
<validate args="{'type':'required'}"/>
```

例) 最大文字数

```
<validate args="{'type':'maxLength', 'args':'250'}"/>
```

例) 勘定科目レポートチェック（MasterBuilderバリデーション）

```
<validate args="{'type':'masterBuilderExists', 'args':{'masterId':'tax_type', 'extensionId':'exp_type', 'searchCriteriaCompany':'searchCriteriaCompany', 'searchCriteriaDate':'searchCriteriaDate', 'taxTypeCd':'taxTypeCd', 'includeDisabled':'true'}}"/>
```

- コンバート設定（**reportBuilderSettings / search / group / elem / convert**）：任意
画面とロジックの間で行う値のコンバート形式を設定します。
コンバート内容の詳細は「[検索設定項目値のコンバート](#)」を参照してください。
- 検索の一致方式設定（**reportBuilderSettings / search / group / elem / condition**）：必須
検索の一致方式を設定します。
設定可能な一致方式は次の通りです。

設定値	解説
IN	エレメントタイプが「マスタ検索」の場合、設定可能です。 「セレクトボックス」、「マスタ検索」の値が選択されていない場合、 「セレクトボックス」、「マスタ検索」で選択可能ないずれかの値に一致するかどうかを検索します。 「セレクトボックス」、「マスタ検索」で選択可能な値が存在しない場合、検索結果は表示されません。
PREFIX_KEYWORD	前方一致で検索します。
SUFFIX_KEYWORD	後方一致で検索します。
PART_KEYWORD	部分一致で検索します。

一覧設定

一覧設定ではレポートに一覧表示する項目の設定を行います。

一覧設定は、「**reportBuilderSettings / List / item**」階層に設定を行います。
「**reportBuilderSettings / List / item**」階層は、1件以上の複数設定が可能です。

設定

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 略 --&gt;

&lt;list&gt;
  &lt;item name="systemMatterId" surfaceKey="systemMatterId" /&gt;
  &lt;item name="gadgetName" surfaceKey="gadgetName" selected="true" sort="asc" /&gt;
  &lt;item name="gadgetClass" surfaceKey="gadgetClass" /&gt;
  &lt;item name="gadgetId" surfaceKey="gadgetId" /&gt;
  &lt;item name="applyAuthCompanyCode" surfaceKey="authCompanyCd" /&gt;
  &lt;item name="applyAuthCompanyName" surfaceKey="authCompanyName" selected="true" sort="asc" /&gt;
  &lt;item name="startDate" surfaceKey="startDate" selected="true" sort="asc" /&gt;
  &lt;item name="endDate" surfaceKey="endDate" selected="true" /&gt;
  &lt;item name="currencyCd1" surfaceKey="currencyCd1" selected="true" /&gt;
  &lt;item name="amount1" surfaceKey="amount1" selected="true" convert="COMMA" /&gt;
  &lt;item name="summary1" surfaceKey="summary1" selected="true" /&gt;
  &lt;item name="summary2" surfaceKey="summary2" selected="true" /&gt;
  &lt;item name="summary3" surfaceKey="summary3" selected="true" /&gt;
  &lt;item name="summary4" surfaceKey="summary4" selected="true" /&gt;
  &lt;item name="applyAuthUserCode" surfaceKey="applyAuthUserCode" selected="true" /&gt;
  &lt;item name="applyAuthUserName" surfaceKey="applyAuthUserName" selected="true" /&gt;
  &lt;item name="applyExecuteUserCode" surfaceKey="applyExecuteUserCode" selected="true" /&gt;
  &lt;item name="applyExecuteUserName" surfaceKey="applyExecuteUserName" selected="true" /&gt;
&lt;/list&gt;

<!-- 略 --&gt;

&lt;/reportBuilderSettings&gt;
</pre>

```

解説

- **項目名 (reportBuilderSettings / List / item @ name) :**必須
一覧表示する項目の項目名 (HTMLのname属性値) を設定します。
未設定の場合、ReportBuilder定義読み込み時に読み込みエラーが発生します。
- **サーフィスキー (reportBuilderSettings / List / item @ surfaceKey) :**必須
定義を行う項目の名称 (サーフィスキー) を設定します。 (実際のサーフィスは、後述のサーフィス定義で設定します。)
未設定の場合、ReportBuilder定義読み込み時に読み込みエラーが発生します。
- **ソート方法 (reportBuilderSettings / List / item @ sort) :**任意
レポートを初期表示した際のソート方法 (asc,desc) を設定します。
未設定の場合は、初期表示時のソート対象項目としません。
- **初期表示有無 (reportBuilderSettings / List / item @ selected) :**任意
レポートを初期表示した際、一覧に項目を初期表示するか (true,false) を設定します。
未設定の場合は、非表示 (false) とします。
- **スタイル (reportBuilderSettings / List / item @ style) :**任意
htmlタグに指定するstyle属性を設定します。
- **コンバート設定 (reportBuilderSettings / List / item @ convert) :**任意
画面に表示する値のコンバート形式を設定します。
コンバート内容の詳細は「[一覧設定項目値のコンバート](#)」を参照してください。

エクスポート設定

エクスポート設定では、ReportBuilderをエクスポートする際の初期値の設定を行います。
設定しない場合、自動的に初期値が補完されます。

設定

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 略 -->

<export>
  <character>SHIFT-JIS</character>
  <delimiter>,</delimiter>
  <enclosing>"</enclosing>
</export>

<!-- 略 -->

</reportBuilderSettings>

```

解説

- エクスポートファイルのヘッダー出力有無 (**reportBuilderSettings / export / headerRow**) : 任意
エクスポートファイルのヘッダー出力有無 (true/false) を設定します。
未設定の場合は、出力します。
- 文字コード (**reportBuilderSettings / export / character**) : 任意
定義を行うレポートのエクスポートファイルの文字コードの初期値 (UTF-8、SHIFT-JIS) を設定します。
未設定の場合は、UTF-8とします。
- 区切り文字 (**reportBuilderSettings / export / delimiter**) : 任意
定義を行うレポートのエクスポートファイルの区切り文字の初期値を設定します。
設定可能な値はカンマ (,) 、タブ (\t) です。
未設定の場合は、カンマ (,) とします。
- 囲み文字 (**reportBuilderSettings / export / enclosing**) : 任意
定義を行うレポートのエクスポートファイルの囲み文字 ("") を設定します。
未設定の場合、ダブルクオーテーション ("") とします。

エクスポートジョブ設定

エクスポートジョブ設定では、ジョブを使用してレポートをエクスポートする際のジョブパラメータの設定を行います。
詳細は、「[指定可能なジョブパラメータ](#)」を参照してください。

エクスポートジョブ設定は、「**reportBuilderSettings / exportJob / parameters / parameter**」階層に設定を行います。
「**reportBuilderSettings / exportJob / parameters / parameter**」階層は、複数設定が可能です。

設定

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 略 -->

<exportJob>
  <parameters>
    <parameter key="character" value="SHIFT-JIS"/>
    <parameter key="header_row" value="true"/>
  </parameters>
</exportJob>

<!-- 略 -->

</reportBuilderSettings>

```

解説

- ジョブパラメータキー (**reportBuilderSettings / exportJob / parameters / parameter @ key**) : 必須
ジョブパラメータのキーを設定します。
- ジョブパラメータ値 (**reportBuilderSettings / exportJob / parameters / parameter @ value**) : 必須
ジョブパラメータの値を設定します。

サーフィス設定

サーフィス設定では、画面表示に使用するサーフィスの設定を行います。

設定

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 略 --&gt;

&lt;surfaces&gt;
  &lt;surface surfaceKey="reportName"           surface="Destination List"&gt;
    &lt;name localeId="ja"   surface="出張先一覧" /&gt;
    &lt;name localeId="en"   surface="Destination List" /&gt;
    &lt;name localeId="zh_CN" surface="商〇旅行目的地名〇" /&gt;
  &lt;/surface&gt;
  &lt;surface surfaceKey="searchCriteriaDate"      surface="Search Reference Date"&gt;
    &lt;name localeId="ja"   surface="検索基準日" /&gt;
    &lt;name localeId="en"   surface="Search Reference Date" /&gt;
    &lt;name localeId="zh_CN" surface="〇素基準日" /&gt;
  &lt;/surface&gt;
&lt;/surfaces&gt;
&lt;/reportBuilderSettings&gt;</pre>

```

解説

- サーフィスキー (**reportBuilderSettings / surfaces / surface @ surfaceKey**) : 必須
サーフィスキーを設定します。
- サーフィス (**reportBuilderSettings / surfaces / surface @ surface**) : 必須
デフォルトのサーフィスを設定します。（後述の言語設定に対象のロケールが存在しない場合に使用します。）
- 言語設定 (**reportBuilderSettings / surfaces / surface / name**) : 任意
各言語（ロケール）に合わせた設定を行います。
- 言語設定・ロケール (**reportBuilderSettings / surfaces / surface / name @ localeId**) : 必須
言語設定を行うロケールを設定します。
- 言語設定・サーフィス (**reportBuilderSettings / surfaces / surface / name @ surface**) : 必須
各言語（ロケール）に合わせたサーフィスを設定します。

Sample

次のReportBuilder定義は出張先一覧の設定を行った場合のサンプルです。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">
  <reportId>expense_info</reportId>
  <next>matter_process_info</next>
  <surfaceKey>reportName</surfaceKey>
  <resources>service://kaiden/report/expense_info</resources>
  <search>
    <group surfaceKey="searchCriteriaDate">
      <elem name="searchCriteriaDate" surfaceKey="searchCriteriaDate" type="TEXT_DATE" convert="TIMESTAMP"/>
    </group>
    <group surfaceKey="systemMatterId">
      <elem name="systemMatterId" surfaceKey="systemMatterId" type="TEXT"/>
    </group>
    <group surfaceKey="gadgetName">
      <elem name="gadgetName" surfaceKey="gadgetName" type="TEXT" condition="PART_KEYWORD">
        <args>
          <arg key="style"      value="width:100px;"/>
        </args>
      </elem>
    </group>
    <group surfaceKey="gadgetId">
      <elem name="gadgetId" surfaceKey="gadgetId" type="TEXT" condition="PART_KEYWORD">
        <args>
          <arg key="style"      value="width:100px;"/>
        </args>
      </elem>
    </group>
  </search>
```

```

</elem>
</group>
<group surfaceKey="applyAuthCompany">
<elem name="applyAuthCompanyCode" surfaceKey="applyAuthCompanyName" type="MASTER" condition="IN">
<args>
<arg key="masterId" value="company"/>
<arg key="extensionId" value="expense_info"/>
<arg key="searchType" value="select"/>
<arg key="name" value="applyAuthCompanyCode"/>
<arg key="viewName" value="applyAuthCompanyName"/>
<arg key="criteria" value="{'division':'4', 'includeBlank':'true'}"/>
<arg key="resultChain" value="{'applyAuthCompanyCode':'companyCd', 'applyAuthCompanyName':'companyName'}"/>
<arg key="resultValue" value="companyName"/>
<arg key="primaryTarget" value="applyAuthCompanyCode"/>
<arg key="refreshTarget" value="searchCriteriaDate"/>
<arg key="style" value="width:200px; margin-right:10px;"/>
</args>
</elem>
</group>
<group surfaceKey="term">
<elem name="period" surfaceKey="period" type="MASTER" >
<args>
<arg key="masterId" value="term" />
<arg key="extensionId" value="expense_info" />
<arg key="name" value="period" />
<arg key="viewName" value="periodName" />
<arg key="searchType" value="select"/>
<arg key="criteria" value="{'division':'4', 'includeBlank':'true'}" />
<arg key="resultChain" value="{'startDate':'startDate', 'endDate':'endDate'}" />
<arg key="resultValue" value="termName"/>
<arg key="primaryTarget" value="periodStartDate"/>
<arg key="style" value="width:170px;" />
</args>
</elem>
<elem name="startDate" surfaceKey="startDate" type="TEXT_DATE" convert="TIMESTAMP"/>
<elem name="startDateSrf" surfaceKey="dateFrom" type="SURFACE"/>
<elem name="endDate" surfaceKey="endDate" type="TEXT_DATE" convert="TIMESTAMP">
<args>
<arg key="style" value="margin-left:10px;"/>
</args>
</elem>
<elem name="endDateSrf" surfaceKey="dateTo" type="SURFACE"/>
</group>
<group surfaceKey="currencyCd1">
<elem name="currencyCd1" surfaceKey="currencyCd1" type="TEXT">
<args>
<arg key="style" value="width:100px;"/>
</args>
</elem>
</group>
<group surfaceKey="amount1">
<elem name="amountFrom" surfaceKey="amountFrom" type="TEXT_NUMERIC" >
<validates>
<validate args="{'type':'numeric'}"/>
</validates>
</elem>
<elem name="amountFromSrf" surfaceKey="numericFrom" type="SURFACE"/>
<elem name="amountTo" surfaceKey="amountTo" type="TEXT_NUMERIC" >
<args>
<arg key="style" value="margin-left:10px;"/>
</args>
<validates>
<validate args="{'type':'numeric'}"/>
</validates>
</elem>
<elem name="amountToSrf" surfaceKey="numericTo" type="SURFACE"/>
</group>
<group surfaceKey="summary1">
<elem name="summary1" surfaceKey="summary1" type="TEXT" condition="PART_KEYWORD">
<args>
<arg key="style" value="width:100px;"/>
</args>

```

```

</elem>
</group>
<group surfaceKey="summary2">
  <elem name="summary2" surfaceKey="summary2" type="TEXT" condition="PART_KEYWORD">
    <args>
      <arg key="style"      value="width:100px;"/>
    </args>
  </elem>
</group>
<group surfaceKey="summary3">
  <elem name="summary3" surfaceKey="summary3" type="TEXT" condition="PART_KEYWORD">
    <args>
      <arg key="style"      value="width:100px;"/>
    </args>
  </elem>
</group>
<group surfaceKey="summary4">
  <elem name="summary4" surfaceKey="summary4" type="TEXT" condition="PART_KEYWORD">
    <args>
      <arg key="style"      value="width:100px;"/>
    </args>
  </elem>
</group>

<group surfaceKey="applyAuthUserName">
  <elem name="applyAuthUserCode" surfaceKey="applyAuthUserCode" type="MASTER">
    <args>
      <arg key="masterId"   value="user_ath_company"/>
      <arg key="extensionId" value="expense_info"/>
      <arg key="searchType"  value="search"/>
      <arg key="name"        value="applyAuthUserCode"/>
      <arg key="viewName"    value="applyAuthUserName"/>
      <arg key="criteria"   value="{'searchCriteriaDate':'searchCriteriaDate','userCd':'applyAuthUserCode','includeBlank':'true'}"/>
      <arg key="resultChain" value="{'applyAuthUserCode':'userCd','applyAuthUserName':'userName'}/>
      <arg key="resultValue" value="userName"/>
      <arg key="primaryTarget" value="applyAuthUserCode"/>
      <arg key="refreshTarget" value="searchCriteriaDate"/>
      <arg key="style"       value="width:200px;"/>
    </args>
  </elem>
</group>
<group surfaceKey="applyExecuteUserName">
  <elem name="applyExecuteUserCode" surfaceKey="applyExecuteUserCode" type="MASTER">
    <args>
      <arg key="masterId"   value="user_ath_company"/>
      <arg key="extensionId" value="expense_info"/>
      <arg key="searchType"  value="search"/>
      <arg key="name"        value="applyExecuteUserCode"/>
      <arg key="viewName"    value="applyExecuteUserName"/>
      <arg key="criteria"   value="{'searchCriteriaDate':'searchCriteriaDate','userCd':'applyExecuteUserCode','includeBlank':'true'}"/>
      <arg key="resultChain" value="{'applyExecuteUserCode':'userCd','applyExecuteUserName':'userName'}/>
      <arg key="resultValue" value="userName"/>
      <arg key="primaryTarget" value="applyExecuteUserCode"/>
      <arg key="refreshTarget" value="searchCriteriaDate"/>
      <arg key="style"       value="width:200px;"/>
    </args>
  </elem>
</group>
</search>
<list>
  <item name="systemMatterId"      surfaceKey="systemMatterId"          />
  <item name="gadgetName"         surfaceKey="gadgetName"           selected="true" sort="asc" />
  <item name="gadgetClass"        surfaceKey="gadgetClass"           />
  <item name="gadgetId"          surfaceKey="gadgetId"             />
  <item name="applyAuthCompanyCode" surfaceKey="authCompanyCd"          />
  <item name="applyAuthCompanyName" surfaceKey="authCompanyName" selected="true" sort="asc" />
  <item name="startDate"          surfaceKey="startDate"            selected="true" sort="asc" />
  <item name="endDate"           surfaceKey="endDate"             selected="true" />
  <item name="currencyCdl"        surfaceKey="currencyCdl"           selected="true" />
  <item name="amount1"           surfaceKey="amount1"              selected="true" convert="COMMA" />
  <item name="summary1"          surfaceKey="summary1"             selected="true" />

```

```

<item name="summary2" surfaceKey="summary2" selected="true" />
<item name="summary3" surfaceKey="summary3" selected="true" />
<item name="summary4" surfaceKey="summary4" selected="true" />
<item name="applyAuthUserCode" surfaceKey="applyAuthUserCode" selected="true" />
<item name="applyAuthUserName" surfaceKey="applyAuthUserName" selected="true" />
<item name="applyExecuteUserCode" surfaceKey="applyExecuteUserCode" selected="true" />
<item name="applyExecuteUserName" surfaceKey="applyExecuteUserName" selected="true" />
</list>
<surfaces>
<surface surfaceKey="reportName" surface="Destination List">
<name localeId="ja" surface="出張先一覧" />
<name localeId="en" surface="Destination List" />
<name localeId="zh_CN" surface="商〇旅行目的地名〇" />
</surface>
<surface surfaceKey="searchCriteriaDate" surface="Search Reference Date">
<name localeId="ja" surface="検索基準日" />
<name localeId="en" surface="Search Reference Date" />
<name localeId="zh_CN" surface="〇索基準日" />
</surface>
<surface surfaceKey="hyphen" surface=" - " />
<surface surfaceKey="dateFrom" surface="hereafter">
<name localeId="ja" surface="以後" />
<name localeId="en" surface="hereafter" />
<name localeId="zh_CN" surface="以后" />
</surface>
<surface surfaceKey="dateTo" surface="prior">
<name localeId="ja" surface="より前" />
<name localeId="en" surface="prior" />
<name localeId="zh_CN" surface="之前" />
</surface>
<surface surfaceKey="numericFrom" surface="Not lower than">
<name localeId="ja" surface="以上" />
<name localeId="en" surface="Not lower than" />
<name localeId="zh_CN" surface="以上" />
</surface>
<surface surfaceKey="numericTo" surface="Less Than">
<name localeId="ja" surface="未満" />
<name localeId="en" surface="Less Than" />
<name localeId="zh_CN" surface="小于" />
</surface>
<surface surfaceKey="applyAuthCompany" surface="Apply Authority Company">
<name localeId="ja" surface="申請権限会社" />
<name localeId="en" surface="Apply Authority Company" />
<name localeId="zh_CN" surface="申〇人授〇の会社" />
</surface>
<surface surfaceKey="company" surface="Company : ">
<name localeId="ja" surface="会社 : " />
<name localeId="en" surface="Company : " />
<name localeId="zh_CN" surface="公司 : " />
</surface>
<surface surfaceKey="systemMatterId" surface="System Application ID">
<name localeId="ja" surface="システム案件ID" />
<name localeId="en" surface="System Application ID" />
<name localeId="zh_CN" surface="系〇目ID" />
</surface>
<surface surfaceKey="gadgetName" surface="Gadget">
<name localeId="ja" surface="ガジェット" />
<name localeId="en" surface="Gadget" />
<name localeId="zh_CN" surface="控件" />
</surface>
<surface surfaceKey="gadgetClass" surface="Gadget Class">
<name localeId="ja" surface="ガジェットクラス" />
<name localeId="en" surface="Gadget Class" />
<name localeId="zh_CN" surface="控件〇" />
</surface>
<surface surfaceKey="gadgetId" surface="Gadget ID">
<name localeId="ja" surface="ガジェットID" />
<name localeId="en" surface="Gadget ID" />
<name localeId="zh_CN" surface="控件ID" />
</surface>
<surface surfaceKey="authCompanyCd" surface="Apply Authority Company Code">
<name localeId="ja" surface="申請権限会社コード" />
<name localeId="en" surface="Apply Authority Company Code" />

```

```

<name localeId="zh_CN" surface="申込威公司代口" />
</surface>
<surface surfaceKey="authCompanyName"           surface="Apply Authority Company">
  <name localeId="ja"   surface="申請権限会社" />
  <name localeId="en"   surface="Apply Authority Company" />
  <name localeId="zh_CN" surface="申込管理局公司" />
</surface>
<surface surfaceKey="term" surface="Business Trip Period">
  <name localeId="en"   surface="Business Trip Period"/>
  <name localeId="ja"   surface="出張期間"/>
  <name localeId="zh_CN" surface="出差期口"/>
</surface>
<surface surfaceKey="startDate"             surface="Business Trip Period (Start Date)">
  <name localeId="ja"   surface="出張期間(開始日)" />
  <name localeId="en"   surface="Business Trip Period (Start Date)" />
  <name localeId="zh_CN" surface="出差期口(开始日)" />
</surface>
<surface surfaceKey="endDate"               surface="Business Trip Period (End Date)">
  <name localeId="ja"   surface="出張期間(終了日)" />
  <name localeId="en"   surface="Business Trip Period (End Date)" />
  <name localeId="zh_CN" surface="出差期口(口束日)" />
</surface>
<surface surfaceKey="currencyCd1"          surface="Currency">
  <name localeId="ja"   surface="通貨" />
  <name localeId="en"   surface="Currency" />
  <name localeId="zh_CN" surface="法定口" />
</surface>
<surface surfaceKey="amount1"              surface="Estimated Cost">
  <name localeId="ja"   surface="概算費用" />
  <name localeId="en"   surface="Estimated Cost" />
  <name localeId="zh_CN" surface="概算口用" />
</surface>
<surface surfaceKey="amountFrom"          surface="Estimated Cost(min)">
  <name localeId="ja"   surface="概算費用(min)" />
  <name localeId="en"   surface="Estimated Cost(min)" />
  <name localeId="zh_CN" surface="概算口用 (min)"/>
</surface>
<surface surfaceKey="amountTo"            surface="Estimated Cost(max)">
  <name localeId="ja"   surface="概算費用(max)" />
  <name localeId="en"   surface="Estimated Cost(max)" />
  <name localeId="zh_CN" surface="概算口用 (max)"/>
</surface>
<surface surfaceKey="summary1"            surface="Travel Purpose">
  <name localeId="ja"   surface="出張目的" />
  <name localeId="en"   surface="Travel Purpose" />
  <name localeId="zh_CN" surface="出差目的" />
</surface>
<surface surfaceKey="summary2"            surface="Destination">
  <name localeId="ja"   surface="出張先" />
  <name localeId="en"   surface="Destination" />
  <name localeId="zh_CN" surface="出差地" />
</surface>
<surface surfaceKey="summary3"            surface="Destination Address">
  <name localeId="ja"   surface="出張先住所" />
  <name localeId="en"   surface="Destination Address" />
  <name localeId="zh_CN" surface="出差地住址" />
</surface>
<surface surfaceKey="summary4"            surface="Note">
  <name localeId="ja"   surface="備考" />
  <name localeId="en"   surface="Note" />
  <name localeId="zh_CN" surface="口注" />
</surface>
<surface surfaceKey="applyAuthUserCode"    surface="Apply administrator Code">
  <name localeId="ja"   surface="申請権限者コード" />
  <name localeId="en"   surface="Apply administrator Code" />
  <name localeId="zh_CN" surface="申口限者代口" />
</surface>
<surface surfaceKey="applyAuthUserName"    surface="Apply administrator">
  <name localeId="ja"   surface="申請権限者" />
  <name localeId="en"   surface="Apply administrator" />
  <name localeId="zh_CN" surface="申口限者" />
</surface>
<surface surfaceKey="applyExecutorUserCode" surface="Apply Executor Code">

```

```

<surface surfaceKey="applyExecutorCode" surface="Apply Executor Code">
  <name localeId="ja" surface="申請実行者コード" />
  <name localeId="en" surface="Apply Executor Code" />
  <name localeId="zh_CN" surface="申〇人从〇代〇" />
</surface>
<surface surfaceKey="applyExecuteUserName" surface="Apply Executor">
  <name localeId="ja" surface="申請実行者" />
  <name localeId="en" surface="Apply Executor" />
  <name localeId="zh_CN" surface="申〇人的〇行" />
</surface>
<surface surfaceKey="authOrgzCd" surface="Authority Organization Code">
  <name localeId="ja" surface="権限組織コード" />
  <name localeId="en" surface="Authority Organization Code" />
  <name localeId="zh_CN" surface="〇威〇机〇代〇" />
</surface>
<surface surfaceKey="authOrgzName" surface="Authority Organization">
  <name localeId="ja" surface="権限組織" />
  <name localeId="en" surface="Authority Organization" />
  <name localeId="zh_CN" surface="〇威〇机〇" />
</surface>
<surface surfaceKey="authUserCd" surface="Administrator Code">
  <name localeId="ja" surface="権限者コード" />
  <name localeId="en" surface="Administrator Code" />
  <name localeId="zh_CN" surface="〇限者代〇" />
</surface>
<surface surfaceKey="authUserName" surface="Administrator">
  <name localeId="ja" surface="権限者" />
  <name localeId="en" surface="Administrator" />
  <name localeId="zh_CN" surface="〇限者" />
</surface>
<surface surfaceKey="executeUserCode" surface="Executor Code">
  <name localeId="ja" surface="実行者コード" />
  <name localeId="en" surface="Executor Code" />
  <name localeId="zh_CN" surface="人从〇代〇" />
</surface>
<surface surfaceKey="executeUserName" surface="Executor">
  <name localeId="ja" surface="実行者" />
  <name localeId="en" surface="Executor" />
  <name localeId="zh_CN" surface="人的〇行" />
</surface>
<surface surfaceKey="period" surface="Period">
  <name localeId="ja" surface="期間" />
  <name localeId="en" surface="Period" />
  <name localeId="zh_CN" surface="日期" />
</surface>
</surfaces>
</reportBuilderSettings>

```

検索用SQL

本項では、ReportBuilderで使用するSQLの作成方法を説明します。

- 概要
- 一覧表示部分SQL
- 検索条件部分SQL
- ソート部分SQL
- Sample

概要

「[拡張設定](#)」を使用することで、SQLの配置先を変更することができます。
 「[拡張設定](#)」を使用しない場合のReportBuilderで使用するSQLの配置先は次の通りです。

%ModuleProject%/src/main/resources/META-INF/sql/jp/co/slcs/kaiden/v2/generic/report/%レポートID%.sql
 (レポートIDには、ReportBuilder定義で設定したレポートIDを指定してください。)

- 検索基準となる値の補完

検索基準日・検査基準ロケール・検索基準ユーザが設定されていない場合、次の通り補完して、SQLに引き渡されます。

名称	SQLで使用する値	補完順
検索基準日	searchCriteriaDate	リクエストパラメータ > システム日付
検査基準ロケー ル	searchCriteriaLocale	リクエストパラメータ > ログインユーザのロケール
検索基準ユーザ	searchCriteriaUser	リクエストパラメータ > ログインユーザ

一覧表示部分SQL

一覧表示部分のSQLでは、ReportBuilder機能の一覧として表示するデータを定義します。

- 一覧表示部分

- 設定

```

select
    target.system_matter_id
    ,target.user_data_id
    ,target.gadget_class
    ,target.gadget_instance
    ,target.gadget_id
    ,target.gadget_variation
    ,target.start_date
    ,target.end_date
    ,target.currency_cd1
    ,target.currency_cd2
    ,target.currency_cd3
    ,target.amount1
    ,target.amount2
    ,target.amount3
    ,target.summary1
    ,target.summary2
    ,target.summary3
    ,target.summary4
    ,target.summary5
    ,matter_process.apply_auth_company_code as apply_auth_company_code
    ,dept_com_sea.department_name as apply_auth_company_name
    ,matter_process.apply_auth_user_code as apply_auth_user_code
    ,matter_process.apply_auth_user_name as apply_auth_user_name
    ,matter_process.apply_execute_user_code as apply_execute_user_code
    ,matter_process.apply_execute_user_name as apply_execute_user_name
    ,gadget.gadget_name as gadget_name
from
    k30t_expense_info target
left join (
select
        matter.system_matter_id
        ,matter.flow_id
        ,matter.flow_version_id
        ,matter.flow_name
        ,matter.contents_id
        ,matter.contents_version_id
        ,matter.contents_name
        ,matter.route_id
        ,matter.route_version_id
        ,matter.route_name
        ,matter.app_type_code
        ,matter.app_type_name
        ,matter.matter_number
        ,matter.matter_name
        ,matter.apply_base_date

```

```

, matter.apply_base_date
, matter.apply_date
, matter.apply_auth_company_code
, matter.apply_auth_company_name
, matter.apply_auth_user_code
, matter.apply_auth_user_name
, matter.apply_execute_user_code
, matter.apply_execute_user_name
, matter.apply_act_flag
, matter.matter_cpl_date
, matter.archive_date
, matter.matter_end_status_code
, matter.matter_end_status_name
, matter.matter_status_code
, matter.matter_status_name
, matter.task_status_code
, matter.task_status_name
, matter.priority_level
, matter.process_date
, matter.process_hour
, matter.process_minute
, matter.process_second
, matter.process_millisecond
, matter.process_date_total
, matter.process_hour_total
, matter.process_minute_total
, matter.process_second_total
, matter.process_millisecond_total
, matter.process_time
, matter.process_history_count
, matter.confirm_history_count
from
k20r_matter_process_info matter

) matter_process
on matter_process.system_matter_id = target.system_matter_id
left outer join k10m_gadget_description gadget
on gadget.gadget_class = target.gadget_class
and gadget.gadget_variation = target.gadget_variation
/*IF searchCriteriaLocale != null*/
and gadget.locale_id = /*searchCriteriaLocale*/'searchCriteriaLocale'
/*END*/
left outer join imm_department_dept_com_sea
on dept_com_sea.company_cd = matter_process.apply_auth_company_code
and dept_com_sea.department_set_cd = matter_process.apply_auth_company_code
and dept_com_sea.department_cd = matter_process.apply_auth_company_code
/*IF searchCriteriaDate != null*/
and dept_com_sea.start_date <= /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
and dept_com_sea.end_date > /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
/*END*/
/*IF searchCriteriaLocale != null*/
and dept_com_sea.locale_id = /*searchCriteriaLocale*/'searchCriteriaLocale'
/*END*/

```

検索条件部分SQL

検索条件部分のSQLでは、ReportBuilder機能で使用する検索条件を定義します。
画面に入力した値が、リクエストパラメータとして検索条件部分のSQLに渡されます。

- 検索条件部分

出張先一覧

条件設定 エクスポート

Query

検索基準日	<input type="text"/>
システム案件ID	<input type="text"/>
ガジェット	<input type="text"/>
ガジェットID	<input type="text"/>
申請権限会社	<input type="text"/>
出張期間	<input type="text"/> 以後 <input type="text"/> より前
通費	<input type="text"/>
被費費用	<input type="text"/> 以上 <input type="text"/> 未満
出張目的	<input type="text"/>
出張先	<input type="text"/>
出張先住所	<input type="text"/>
備考	<input type="text"/>
申請権限者	<input type="text"/>
申請実行者	<input type="text"/>

表示項目

システム案件ID	ガジェット
ガジェットクラス	申請権限会社
ガジェットID	出張期間(開始日)
申請権限会社コード	出張期間(終了日)

表示件数

ソート順1 ガジェット (昇順)

ソート順2 申請権限会社 (昇順)

ソート順3 出張期間(開始日) (昇順)

検索 クエリーパーク

No.	ガジェット	申請権限会社	出張期間(開始日)	出張期間(終了日)	通費	被費費用	出張目的	出張先	出張先住所	備考	申請権限者コード	申請権限者	申請実行者コード	申請実行者
1	出張(旅費)情報 (被費費用あり)	サンプル会社	2017/07/03	2017/07/04	JPY	26000	大阪支店訪問	大阪	大阪府大阪市中央区	aoyagi	青柳辰巳	aoyagi	青柳辰巳	

最初へ前へ 次へ最後へ

■ 設定

where

```

target.gadget_class = 'expenseInfo'
and target.gadget_variation in ('v03','v04')
/*IF gadgetName != null/
and gadget.gadget_name like /*gadgetName*/'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF gadgetId != null/
and target.gadget_id like /*gadgetId*/'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF currencyCd1 != null/
and target.currency_cd1 = /*currencyCd1*/'currencyCd1'
/*END*/
/*IF amountFrom != null/
and target.amount1 >= CAST(/*amountFrom*/'amountFrom' as INTEGER)
/*END*/
/*IF amountTo != null/
and target.amount1 < CAST(/*amountTo*/'amountTo' as INTEGER)
/*END*/
/*IF systemMatterId != null/
and target.system_matter_id = /*systemMatterId*/'systemMatterId'
/*END*/
/*IF startDate != null/
and target.start_date >= /*startDate*/'startDate'
/*END*/
/*IF endDate != null/
and target.end_date < /*endDate*/'endDate'
/*END*/
/*IF summary1 != null/
and target.summary1 like /*summary1*/'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF summary2 != null/
and target.summary2 like /*summary2*/'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF summary3 != null/
and target.summary3 like /*summary3*/'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF summary4 != null/
and target.summary4 like /*summary4*/'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF applyAuthUserCode != null/
and matter_process.apply_auth_user_code = /*applyAuthUserCode*/'applyAuthUserCode'
/*END*/
/*IF applyExecuteUserCode != null/
and matter_process.apply_execute_user_code = /*applyExecuteUserCode*/'applyExecuteUserCode'
/*END*/
/*IF applyAuthCompanyCode.size() > 0*/
and matter_process.apply_auth_company_code in /*applyAuthCompanyCode*/('applyAuthCompanyCode')
/*END*/

```

ソート部分SQL

ソート部分のSQLでは、ReportBuilder機能で使用するソート順を定義します。

画面で設定したソート順が、リクエストパラメータとしてソート部分のSQLに渡されます。

- ソート部分

The screenshot shows the 'Outing List' search interface. It features a search form with fields for Query, Search Basis Date, System Matter ID, Gadget ID, Application Limit Company, Outing Period, Destination, Expenses, Purpose, Recipient, Recipient Address, Reference, Application Limitee, and Application Executor. Below the search form is a table with columns: No., Gadget, Application Limit Company, Outing Period (Start Date), Outing Period (End Date), Destination, Expenses, Purpose, Recipient, Recipient Address, Reference, Application Limitee Code, Application Limitee, Application Executor Code, and Application Executor. The table has three rows of sample data. At the bottom right of the table, there are buttons for 'First' (最初へ), 'Previous' (前へ), 'Next' (次へ), and 'Last' (最後へ). A red box highlights the sorting section at the bottom of the search form.

■ 設定

```
/*IF orderBy != null*/
order by /*$orderBy*/
/*END*/
```

Sample

次のSQLは出張先一覧の設定を行った場合のサンプルです。

```
select
    target.system_matter_id
    ,target.user_data_id
    ,target.gadget_class
    ,target.gadget_instance
    ,target.gadget_id
    ,target.gadget_variation
    ,target.start_date
    ,target.end_date
    ,target.currency_cd1
    ,target.currency_cd2
    ,target.currency_cd3
    ,target.amount1
    ,target.amount2
    ,target.amount3
    ,target.summary1
    ,target.summary2
    ,target.summary3
    ,target.summary4
    ,target.summary5
    ,matter_process.apply_auth_company_code as apply_auth_company_code
    ,dept_com_sea.department_name as apply_auth_company_name
    ,matter_process.apply_auth_user_code as apply_auth_user_code
    ,matter_process.apply_auth_user_name as apply_auth_user_name
    ,matter_process.apply_execute_user_code as apply_execute_user_code
    ,matter_process.apply_execute_user_name as apply_execute_user_name
    ,gadget.gadget_name as gadget_name
from
    k30t_expense_info target
left join (
        select
            matter.system_matter_id
            ,matter.flow_id
    ) matter
    on target.system_matter_id = matter.system_matter_id
    and target.flow_id = matter.flow_id
    where
        target.outing_type = 'A'
        and target.outing_status = 'P'
        and target.outing_start_date >= '2024-01-01'
        and target.outing_end_date <= '2024-01-31'
        and target.destination_id = 1
        and target.expenses > 10000
        and target.currency_cd1 = 'JPY'
        and target.currency_cd2 = 'JPY'
        and target.currency_cd3 = 'JPY'
        and target.amount1 > 10000
        and target.amount2 > 10000
        and target.amount3 > 10000
        and target.summary1 > 10000
        and target.summary2 > 10000
        and target.summary3 > 10000
        and target.summary4 > 10000
        and target.summary5 > 10000
        and matter.outing_type = 'A'
        and matter.outing_status = 'P'
        and matter.outing_start_date >= '2024-01-01'
        and matter.outing_end_date <= '2024-01-31'
        and matter.destination_id = 1
        and matter.expenses > 10000
        and matter.currency_cd1 = 'JPY'
        and matter.currency_cd2 = 'JPY'
        and matter.currency_cd3 = 'JPY'
        and matter.amount1 > 10000
        and matter.amount2 > 10000
        and matter.amount3 > 10000
        and matter.summary1 > 10000
        and matter.summary2 > 10000
        and matter.summary3 > 10000
        and matter.summary4 > 10000
        and matter.summary5 > 10000
        and gadget.gadget_name = 'G1'
```

```

, matter.flow_version_id
, matter.flow_name
, matter.contents_id
, matter.contents_version_id
, matter.contents_name
, matter.route_id
, matter.route_version_id
, matter.route_name
, matter.app_type_code
, matter.app_type_name
, matter.matter_number
, matter.matter_name
, matter.apply_base_date
, matter.apply_date
, matter.apply_auth_company_code
, matter.apply_auth_company_name
, matter.apply_auth_user_code
, matter.apply_auth_user_name
, matter.apply_execute_user_code
, matter.apply_execute_user_name
, matter.apply_act_flag
, matter.matter_cpl_date
, matter.archive_date
, matter.matter_end_status_code
, matter.matter_end_status_name
, matter.matter_status_code
, matter.matter_status_name
, matter.task_status_code
, matter.task_status_name
, matter.priority_level
, matter.process_date
, matter.process_hour
, matter.process_minute
, matter.process_second
, matter.process_millisecond
, matter.process_date_total
, matter.process_hour_total
, matter.process_minute_total
, matter.process_second_total
, matter.process_millisecond_total
, matter.process_time
, matter.process_history_count
, matter.confirm_history_count
from
k20r_matter_process_info matter

) matter_process
on matter_process.system_matter_id = target.system_matter_id
left outer join k10m_gadget_description gadget
on gadget.gadget_class = target.gadget_class
and gadget.gadget_variation = target.gadget_variation
/*IF searchCriteriaLocale != null*/
and gadget.locale_id = /*searchCriteriaLocale*/'searchCriteriaLocale'
/*END*/
left outer join imm_department dept_com_sea
on dept_com_sea.company_cd = matter_process.apply_auth_company_code
and dept_com_sea.department_set_cd = matter_process.apply_auth_company_code
and dept_com_sea.department_cd = matter_process.apply_auth_company_code
/*IF searchCriteriaDate != null*/
and dept_com_sea.start_date <= /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
and dept_com_sea.end_date > /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
/*END*/
/*IF searchCriteriaLocale != null*/
and dept_com_sea.locale_id = /*searchCriteriaLocale*/'searchCriteriaLocale'
/*END*/

where
target.gadget_class = 'expenseInfo'
and target.gadget_variation in ('v03','v04')
/*IF gadgetName != null*/
and gadget.gadget_name like /*gadgetName*/'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF gadgetId != null*/

```

```

/*target.gadget_id like /*gadgetId*%'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF currencyCd1 != null*/
and target.currency_cd1 = /*currencyCd1*/'currencyCd1'
/*END*/
/*IF amountFrom != null*/
and target.amount1 >= CAST(/*amountFrom*/'amountFrom' as INTEGER)
/*END*/
/*IF amountTo != null*/
and target.amount1 < CAST(/*amountTo*/'amountTo' as INTEGER)
/*END*/
/*IF systemMatterId != null*/
and target.system_matter_id = /*systemMatterId*/'systemMatterId'
/*END*/
/*IF startDate != null*/
and target.start_date >= /*startDate*/'startDate'
/*END*/
/*IF endDate != null*/
and target.end_date < /*endDate*/'endDate'
/*END*/
/*IF summary1 != null*/
and target.summary1 like /*summary1*%'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF summary2 != null*/
and target.summary2 like /*summary2*%'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF summary3 != null*/
and target.summary3 like /*summary3*%'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF summary4 != null*/
and target.summary4 like /*summary4*%'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF applyAuthUserCode != null*/
and matter_process.apply_auth_user_code = /*applyAuthUserCode*/'applyAuthUserCode'
/*END*/
/*IF applyExecuteUserCode != null*/
and matter_process.apply_execute_user_code = /*applyExecuteUserCode*/'applyExecuteUserCode'
/*END*/
/*IF applyAuthCompanyCode.size() > 0*/
and matter_process.apply_auth_company_code in /*applyAuthCompanyCode*/('applyAuthCompanyCode')
/*END*/
/*IF orderBy != null*/
order by /*$orderBy*/
/*END*/

```

設定の流れ

本項では、ReportBuilderの設定の流れを説明します。

- 要件
 - テーブル
- 検索用SQL作成
 - 検索用SQLファイル作成
 - 一覧表示部分SQL
 - 検索部分SQL
 - ソート部分SQL
 - 検索用SQL
- ReportBuilder定義作成
 - ReportBuilder定義ファイル作成
 - 基本設定
 - 遷移先設定
 - 拡張設定
 - 検索設定
 - 一覧設定
 - エクスポート設定
 - エクスポートジョブ設定
 - サーフィス設定
 - ReportBuilder定義
- 動作確認
 - レポート機能

要件

以下の要件があるとします。

- ユーザがどのロールを保持しているかを確認するレポートを確認したい。

これに対応したレポートを、作成していきます。

テーブル

参照するテーブルは以下の通りです。

論理名	物理名
アカウント付与ロール情報	b_m_account_role_b
ロール表示名情報	b_m_role_i
ユーザ	imm_user

検索用SQL作成

はじめに、ReportBuilderで使用する検索用のSQLを作成します。

検索用SQLファイル作成

本説明では、レポートIDを「role_list」とします。

ファイル名は必ず「%レポートID%.sql (role_list.sql)」とします。

配置先

%ModuleProject%/src/main/resources/META-INF/sql/jp/co/slcs/kaiden/v2/generic/report/role_list.sql

一覧表示部分SQL

一覧に表示する項目を取得します。

次の例では、「アカウント付与ロール情報」に「ロール表示名情報」、「ユーザ」を結合しています。

内容

```

select
  account.user_cd
, account.role_id
, account.valid_start_date
, account.valid_end_date
, u.user_name
, role.display_name
from
  b_m_account_role_b account
left join imm_user u
  on u.user_cd = account.user_cd
and u.locale_id = /*searchCriteriaLocale*/'ja'
and u.start_date <= /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
and u.end_date > /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
left join b_m_role_i role
  on account.role_id = role.role_id
and role.locale_id = /*searchCriteriaLocale*/'ja'

```

検索部分SQL

検索条件を設定します。

内容

```

/* 略 */

where
account.valid_start_date <= /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
and account.valid_end_date > /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
/*IF userCode != null*/
and account.user_cd = /*userCode*/'user_cd'
/*END*/
/*IF roleId != null*/
and account.role_id like /*roleId*/'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF displayName != null*/
and role.display_name like /*displayName*/'%' ESCAPE '$'
/*END*/

```

ソート部分SQL

ソート順を設定します。

内容

```

/* 略 */

/*IF orderBy != null*/
order by /*$orderBy*/
/*END*/

```

検索用SQL

前項までの設定を行った検索用SQLは次の様になります。

内容

```

select
  account.user_cd
, account.role_id
, account.valid_start_date
, account.valid_end_date
, u.user_name
, role.display_name
from
b_m_account_role_b account
left join imm_user u
on u.user_cd = account.user_cd
and u.locale_id = /*searchCriteriaLocale*/'ja'
and u.start_date <= /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
and u.end_date > /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
left join b_m_role_i role
on account.role_id = role.role_id
and role.locale_id = /*searchCriteriaLocale*/'ja'
where
account.valid_start_date <= /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
and account.valid_end_date > /*searchCriteriaDate*/'2000/01/01'
/*IF userCode != null*/
and account.user_cd = /*userCode*/'user_cd'
/*END*/
/*IF roleId != null*/
and account.role_id like /*roleId*/'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF displayName != null*/
and role.display_name like /*displayName*/'%' ESCAPE '$'
/*END*/
/*IF orderBy != null*/
order by /*$orderBy*/
/*END*/

```

ReportBuilder定義作成

続いて、ReportBuilder定義を作成します。

ReportBuilder定義ファイル作成

定義用のファイルを作成します。

ファイル名は必ず「%レポートID%.xml（role_list.xml）」とします。

配置先

%ModuleProject%/src/main/storage/system/kaiden/generic/report/role_list.xml

内容

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">
</reportBuilderSettings>

```

基本設定

レポートIDを基に基本設定を行います。

内容

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 基本設定 -->
<reportId>role_list</reportId>
<surfaceKey>reportName</surfaceKey>
<resources>service://kaiden/generic/report/role_list</resources>
</reportBuilderSettings>

```

- レポートID（**reportBuilderSettings/ reportId**）
「role_list」を設定します。
- サーフィスキー（**reportBuilderSettings/ surfaceKey**）：必須
「report_name」を設定します。
実際のサーフィスは、後述のサーフィス設定で行います。
- 認可リソース（**reportBuilderSettings/ resources**）：任意
「service://kaiden/generic/report/role_list」を設定します。
合わせて、認可設定を行います。

遷移先設定

本説明では、遷移先設定は行いません。

ReportBuilderの遷移先を設定する場合は必要に応じて設定してください。

拡張設定

本説明では、拡張設定は行いません。

ReportBuilderの標準機能を拡張（カスタマイズ）する場合は必要に応じて設定してください。

検索設定

[検索用SQL作成](#)で作成したSQLファイルを基に検索設定を行います。

検索設定で設定した項目が、SQLファイルの検索条件として渡されます。

内容

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 基本設定 -->
<!-- 略 -->

<!-- 検索設定 -->
<search>
  <group surfaceKey="searchCriteriaDate">
    <elem name="searchCriteriaDate" surfaceKey="searchCriteriaDate" type="TEXT_DATE" convert="TIMESTAMP">
      <validates>
        <validate args="{'type':'date'}"/>
      </validates>
    </elem>
  </group>
  <group surfaceKey="roleId">
    <elem name="roleId" surfaceKey="roleId" type="TEXT" condition="PART_KEYWORD"/>
  </group>
  <group surfaceKey="displayName">
    <elem name="displayName" surfaceKey="displayName" type="TEXT" condition="PART_KEYWORD"/>
  </group>
  <group surfaceKey="user">
    <elem name="userCode" surfaceKey="user" type="MASTER">
      <args>
        <arg key="masterId" value="user"/>
        <arg key="extensionId" value="late_list"/>
        <arg key="searchType" value="select"/>
        <arg key="name" value="userCode"/>
        <arg key="viewName" value="userName"/>
        <arg key="criteria" value="{'searchCriteriaDate':'searchCriteriaDate','searchType':'select','userCd':'userCode','includeBlank':'true'}"/>
        <arg key="resultChain" value="{'userCode':'userCd','userName':'userName'}"/>
        <arg key="resultValue" value="userName"/>
        <arg key="primaryTarget" value="userCode"/>
        <arg key="refreshTarget" value="searchCriteriaDate"/>
        <arg key="style" value="width:200px;"/>
      </args>
      <validates>
        <validate args="{'type':'masterBuilderExists', 'args':{'masterId':'user', 'extensionId':'late_list', 'searchCriteriaDate':'searchCriteriaDate', 'userCd':'userCode', 'includeDisabled':'true'}}"/>
      </validates>
    </elem>
  </group>
</search>

</reportBuilderSettings>

```

一覧設定

[検索用SQL作成](#)で作成したSQLファイルを基に一覧設定を行います。

内容

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 基本設定 -->
<!-- 略 -->

<!-- 検索設定 -->
<!-- 略 -->

<!-- 一覧設定 -->
<list>
  <item name="userCd" surfaceKey="userCd" sort="asc" />
  <item name="userName" surfaceKey="userName" selected="true" />
  <item name="roleId" surfaceKey="roleId" sort="asc" />
  <item name="displayName" surfaceKey="displayName" selected="true" />
  <item name="validStartDate" surfaceKey="validStartDate" selected="true" />
  <item name="validEndDate" surfaceKey="validEndDate" selected="true" />
</list>
</reportBuilderSettings>

```

エクスポート設定

本説明では、エクスポート設定は行いません。

ReportBuilderのエクスポート時、初期値を指定したい場合は必要に応じて設定してください。

エクスポートジョブ設定

本説明では、エクスポートジョブ設定は行いません。

ReportBuilderのエクスポートジョブ実行時、ジョブパラメータを指定したい場合は必要に応じて設定してください。

サーフィス設定

検索設定、一覧設定で使用する各項目のサーフィスを設定します。

次の例では、デフォルトのサーフィスのみ設定を行っていますが、

複数ロケール用の設定を行う場合は、「[サーフィス設定](#)」を参考に設定を行ってください。

内容

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 基本設定 -->
<!-- 略 -->

<!-- 検索設定 -->
<!-- 略 -->

<!-- 一覧設定 -->
<!-- 略 -->

<!-- サーフィス設定 -->
<surfaces>
  <surface surfaceKey="reportName" surface="Role List"/>
  <surface surfaceKey="userName" surface="User Name"/>
  <surface surfaceKey="userCd" surface="User Code"/>
  <surface surfaceKey="user" surface="User"/>
  <surface surfaceKey="displayName" surface="Role Name"/>
  <surface surfaceKey="roleId" surface="Role ID"/>
  <surface surfaceKey="searchCriteriaDate" surface="Search Reference Date"/>
  <surface surfaceKey="validStartDate" surface="Start date"/>
  <surface surfaceKey="validEndDate" surface="End date"/>
</surfaces>
</reportBuilderSettings>

```

ReportBuilder定義

前項までの設定を行ったReportBuilder定義は次の様になります。

内容

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reportBuilderSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/reportBuilderSettings">

<!-- 基本設定 -->
<reportId>role_list</reportId>
<surfaceKey>reportName</surfaceKey>
<resources>service://kaiden/generic/report/role_list</resources>

<!-- 検索設定 -->
<search>
  <group surfaceKey="searchCriteriaDate">
    <elem name="searchCriteriaDate" surfaceKey="searchCriteriaDate" type="TEXT_DATE" convert="TIMESTAMP">
      <validates>
        <validate args="{'type':'date'}"/>
      </validates>
    </elem>
  </group>
  <group surfaceKey="roleId">
    <elem name="roleId" surfaceKey="roleId" type="TEXT" condition="PART_KEYWORD"/>
  </group>
  <group surfaceKey="displayName">
    <elem name="displayName" surfaceKey="displayName" type="TEXT" condition="PART_KEYWORD"/>
  </group>
  <group surfaceKey="user">
    <elem name="userCode" surfaceKey="user" type="MASTER">
      <args>
        <arg key="masterId" value="user"/>
        <arg key="extensionId" value="late_list"/>
        <arg key="searchType" value="select"/>
        <arg key="name" value="userCode"/>
        <arg key="viewName" value="userName"/>
        <arg key="criteria" value="{'searchCriteriaDate':'searchCriteriaDate','searchType':'select','userCd':'userCode','includeBlank':true,'resultChain':'userCode:userName','resultValue':'userName','primaryTarget':'userCode','refreshTarget':'searchCriteriaDate','style':'width:200px;'}/>
      </args>
      <validates>
        <validate args="{'type':'masterBuilderExists', 'args':{'masterId':'user', 'extensionId':'late_list','searchCriteriaDate':'searchCriteriaDate', 'userCd':'userCode', 'includeDisabled':true}}"/>
      </validates>
    </elem>
  </group>
</search>

<!-- 一覧設定 -->
<list>
  <item name="userCd" surfaceKey="userCd" sort="asc" />
  <item name="userName" surfaceKey="userName" selected="true" />
  <item name="roleId" surfaceKey="roleId" sort="asc" />
  <item name="displayName" surfaceKey="displayName" selected="true" />
  <item name="validStartDate" surfaceKey="validStartDate" selected="true" />
  <item name="validEndDate" surfaceKey="validEndDate" selected="true" />
</list>

<!-- サーフィス設定 -->
<surfaces>
  <surface surfaceKey="reportName" surface="Role List"/>
  <surface surfaceKey="userName" surface="User Name"/>
  <surface surfaceKey="userCd" surface="User Code"/>
  <surface surfaceKey="user" surface="User"/>
  <surface surfaceKey="displayName" surface="Role Name"/>
  <surface surfaceKey="roleId" surface="Role ID"/>
  <surface surfaceKey="searchCriteriaDate" surface="Search Reference Date"/>
  <surface surfaceKey="validStartDate" surface="Start date"/>
  <surface surfaceKey="validEndDate" surface="End date"/>
</surfaces>
</reportBuilderSettings>

```

動作確認

これまでに設定した内容を動作確認します。

配置先

```

src
└─main
    └─resources
        └─META-INF
            └─sql
                └─jp
                    └─co
                        └─slcs
                            └─kaiden
                                └─v2
                                    └─generic
                                        └─report
                                            └─role_list.sql

    └─storage
        └─system
            └─kaiden
                └─generic
                    └─report
                        └─role_list.xml

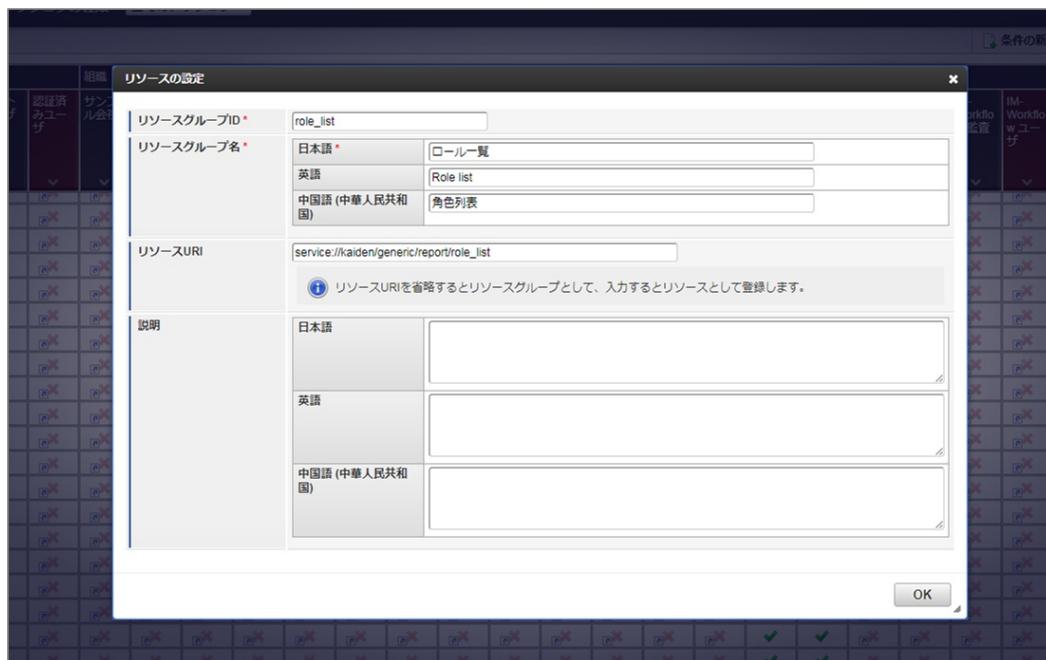
```

レポート機能

レポート機能は、次の手順で動作確認を行います。

1. 認可リソース作成・設定

ReportBuilder定義で設定した認可リソース「service://kaiden/generic/report/role_list」を設定し、検証用のユーザに設定します。また、認可リソース「service://kaiden/generic/report」を検証用のユーザに設定します。



認可設定 (画面・処理) - part-id: im_authz_impl_router																
リソースの種類 画面・処理 アクションの種類 全てのアクション																
<input checked="" type="checkbox"/> 全て許可 <input type="checkbox"/> 全て禁止 <input type="checkbox"/> 全て未設定 条件の新規作成 条件の編集 条件の削除 条件の並び替え 																
リソース	アクション	認証	組織	ロール	認可管理者	メニュー適用管理者	アカウント管理	ロール管理者	カレンダーマネジメント	ジョブスケジューラー管理者	IM会議マネージャー	IM会議マネージャー用管理者	パーク管理者	Kaident管理者	Kaidentユーザ	IM-Workflow管理者
画面・処理	実行 >	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗
Kaident	実行 >	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗
レポート	実行 >	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✓	✗	✗
ローラー算	実行 >	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✓	✗	✗

2. レポート機能表示

「http://<HOST>:<PORT>/<CONTEXT_PATH>/kaiden/v2/generic/report?reportId=role_list」にアクセスし、レポート画面を表示します。

No	ユーザ名	ロール名	開始日	終了日
1	青柳辰巳	管理職	1900/01/01	3000/01/01
2	青柳辰巳	IM-Workflow ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
3	青柳辰巳	Kaiden! 管理者	1900/01/01	3000/01/01
4	青柳辰巳	Kaiden! ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
5	萩本順子	一般社員	1900/01/01	3000/01/01
6	萩本順子	IM-Workflow ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
7	萩本順子	Kaiden! 管理者	1900/01/01	3000/01/01
8	萩本順子	Kaiden! ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
9	原田浩二	一般社員	1900/01/01	3000/01/01
10	原田浩二	IM-Workflow ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
11	原田浩二	Kaiden! 管理者	1900/01/01	3000/01/01
12	原田浩二	Kaiden! ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
13	林政義	一般社員	1900/01/01	3000/01/01
14	林政義	IM-Workflow ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
15	林政義	Kaiden! 管理者	1900/01/01	3000/01/01
16	林政義	Kaiden! ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
17	生田一哉	一般社員	1900/01/01	3000/01/01
18	生田一哉	IM-Workflow ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
19	生田一哉	Kaiden! 管理者	1900/01/01	3000/01/01
20	生田一哉	Kaiden! ユーザ	1900/01/01	3000/01/01

3. 動作確認

一覧の表示や検索が正しく行われることを確認します。

ロール一覧

条件設定 エクスポート

Query	<input type="text"/>								
検索基準日	<input type="text"/> [日付]								
ロールID	<input type="text"/>								
ロール名	<input type="text"/>								
ユーザ	<input type="text"/>								
表示項目	<table border="1"> <tr> <td>ユーザコード</td> <td>ユーザ名</td> </tr> <tr> <td>ロールID</td> <td>ロール名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>開始日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>終了日</td> </tr> </table>	ユーザコード	ユーザ名	ロールID	ロール名		開始日		終了日
ユーザコード	ユーザ名								
ロールID	ロール名								
	開始日								
	終了日								
表示件数	10件表示								
ソート順1	ユーザコード	<input checked="" type="radio"/> 昇順 <input type="radio"/> 降順							
ソート順2	ロールID	<input checked="" type="radio"/> 昇順 <input type="radio"/> 降順							
ソート順3		<input checked="" type="radio"/> 昇順 <input type="radio"/> 降順							

No	ユーザ名	ロール名	開始日	終了日
1	書類販売	管理者	1900/01/01	3000/01/01
2	書類販売	IM-Workflow ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
3	書類販売	Kaiden 管理者	1900/01/01	3000/01/01
4	書類販売	Kaiden ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
5	萩本順子	一般社員	1900/01/01	3000/01/01
6	萩本順子	IM-Workflow ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
7	萩本順子	Kaiden 管理者	1900/01/01	3000/01/01
8	萩本順子	Kaiden ユーザ	1900/01/01	3000/01/01
9	原田浩二	一般社員	1900/01/01	3000/01/01
10	原田浩二	IM-Workflow ユーザ	1900/01/01	3000/01/01

最初へ 前へ 1 2 3 4 5 次へ 後へ 最終へ

i コラム

メニューに設定する場合は、次の様に設定します。

メニューアイテムID * 8gi6ethmfdhot45

メニューアイテム名 *	日本語 * ロール一覧
英語	Role list
中国語 (中国)	角色列表

URL * kaiden/v2/generic/report **権限設定**

呼び出し方法 POST

引数

+ 行追加 - 選択行削除	
キー	値
reportId	role_list

アイコン画像

標準	<input checked="" type="radio"/> ファイルパス コンテキストパス配下のURLを入力してください。 <input type="radio"/> CSS Sprites imui://csssprites/ クラス名を入力してください。
16px	
32px	

新規作成

- **メニューアイテムID**
任意の値を設定してください。
- **メニューアイテム名**
任意の値を設定してください。
- **URL**
kaiden/v2/generic/report
- **呼び出し方法**
POST
- **引数**
値には、レポートIDを設定します。

キー	値
reportId	role_list

i コラム

レポートのエクスポートジョブの実行方法は、『intra-mart Accel Kaiden! レポート操作ガイド』 - 「レポート関連ジョブ」 - 「レポートエクスポート」を参照してください。

API

REST API

REST APIについて説明します。

REST APIについて

ReportBuilderが提供するREST APIは、HTTPプロトコルを使用し、ReportBuilderに関する様々な処理を呼び出すことが可能です。また、REST APIは全ての呼び出し先に対し認可リソースを持ちます。REST APIとして利用可能な機能は以下のとおりです。

- 検索
- 検索結果件数取得
- エクスポート
- クエリー情報取得

エンドポイントプレフィックス

REST APIは以下の通り呼び出してください。

プロトコル、ホスト名、ポート番号、コンテキストパスは環境にあわせて置き換えてください。

`http(s)://{{HOST}}:{{PORT}}/{{CONTEXT_PATH}}/kaiden/v2/api/generic/report/....`

リクエストパラメータ共通仕様

- 仕様に沿わない構造やプロパティ名の情報が含まれる場合、予期せぬ動作になる可能性があります。
- 各レポートのレポートIDを確認する場合、『[intra-mart Accel Kaiden! レポート操作ガイド](#)』 - 「リファレンス」 - 「レポート一覧」を参照してください。

レスポンスデータ共通仕様

- 値が存在しない場合（ブランク文字列やnull）、プロパティそのものが含まれません。

エンドポイント

- 検索
- 検索結果件数取得
- エクスポート
- クエリー情報取得

指定可能なエレメントタイプと属性値

ReportBuilder定義の「検索設定」で指定可能なエレメントタイプとエレメント属性は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden!標準のフィールドタイプ
 - テキストボックス [type : TEXT]
 - テキストボックス（数値） [type : TEXT_NUMERIC]
 - テキストボックス（コード） [type : TEXT_CODE]
 - テキストボックス（日付） [type : TEXT_DATE]
 - テキストボックス（時間） [type : TEXT_TIME]
 - テキストボックス（パスワード） [type : TEXT_PASSWORD]
 - テキストボックス（Hidden） [type : TEXT_HIDDEN]
 - テキストエリア [type : TEXTAREA]
 - チェックボックス [type : CHECKBOX]
 - ラジオボタン [type : RADIO]
 - サーフィス [type : SURFACE]
 - マスター検索 [type : MASTER]
 - アイコン [type : ICON]

intra-mart Accel Kaiden!標準のフィールドタイプ

本項では、intra-mart Accel Kaiden!で提供しているフィールドタイプと設定方法を説明します。

テキストボックス [type : TEXT]

属性値	設定値
imeMode	IME-MODEを設定します。設定値：[on / off / disabled]
class	class属性の値を設定します。
style	style属性の値を設定します。
maxlength	最大文字数を設定します。

設定方法（例）

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="TEXT">
<args>
  <arg key="imeMode" value="on"/>
  <arg key="class" value="common_class"/>
  <arg key="style" value="common_style"/>
  <arg key="maxlength" value="250"/>
</args>
</elem>
```

テキストボックス（数値） [type : TEXT_NUMERIC]

属性値	設定値
class	class属性の値を設定します。
style	style属性の値を設定します。
maxlength	最大文字数を設定します。

設定方法（例）

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="TEXT_NUMERIC">
<args>
  <arg key="class" value="common_class"/>
  <arg key="style" value="common_style"/>
  <arg key="maxlength" value="100"/>
</args>
</elem>
```

テキストボックス（コード） [type : TEXT_CODE]

属性値	設定値
class	class属性の値を設定します。
style	style属性の値を設定します。
maxlength	最大文字数を設定します。

設定方法（例）

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="TEXT_CODE">
<args>
  <arg key="class" value="common_class"/>
  <arg key="style" value="common_style"/>
  <arg key="maxlength" value="100"/>
</args>
</elem>
```

テキストボックス（日付） [type : TEXT_DATE]

属性値	設定値
class	class属性の値を設定します。
style	style属性の値を設定します。
maxlength	最大文字数を設定します。
autoFormat	日付自動フォーマット属性を設定します。設定値 : [true / false]

設定方法（例）

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="TEXT_DATE">
<args>
  <arg key="class" value="common_class"/>
  <arg key="style" value="common_style"/>
  <arg key="autoFormat" value="true"/>
</args>
</elem>
```



コラム

日付自動フォーマットについて

日付自動フォーマット属性に「true」を設定した場合、フォーカスアウト時に次の様なフォーマット変換が行われます。
(次の例はシステム日付が「2017/07/10」の場合の例です。)

入力値	フォーマット値
1	2017/07/01
5	2017/07/05
32	2017/08/01
1/1	2017/01/01
5/5	2017/05/05

属性値	設定値
maxHour	時間の最大値を設定します。
timeFormat	時刻表現を設定します。 省略時は「BaseSettings.xml」の時刻表現 (timeFormat) を使用します。 H24 : 24時までを表現します。 H99 : 24時以降も表現します。 (午前2時は「26時」と表現します。)
minutesUnit	時刻の最小入力単位(分)を設定します。
class	class属性の値を設定します。
style	style属性の値を設定します。

設定方法 (例)

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="TEXT_TIME">
<args>
<arg key="maxHour" value="24"/>
<arg key="timeFormat" value="H99"/>
<arg key="minutesUnit" value="10"/>
<arg key="class" value="common_class"/>
<arg key="style" value="common_style"/>
</args>
</elem>
```

テキストボックス (パスワード) [type : TEXT_PASSWORD]

属性値	設定値
class	class属性の値を設定します。
style	style属性の値を設定します。
maxlength	最大文字数を設定します。

設定方法 (例)

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="TEXT_PASSWORD">
<args>
<arg key="class" value="common_class"/>
<arg key="style" value="common_style"/>
<arg key="maxlength" value="100"/>
</args>
</elem>
```

テキストボックス (Hidden) [type : TEXT_HIDDEN]

属性値	設定値
class	class属性の値を設定します。
style	style属性の値を設定します。

設定方法 (例)

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="TEXT_HIDDEN">
<args>
<arg key="class" value="common_class"/>
<arg key="style" value="common_style"/>
</args>
</elem>
```

テキストエリア [type : TEXTAREA]

属性値	設定値
imeMode	IME-MODEを設定します。設定値 : [on / off / disabled]
class	class属性の値を設定します。
style	style属性の値を設定します。
maxlength	最大文字数を設定します。
rows	行数を設定します。

設定方法（例）

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="TEXTAREA">
<args>
<arg key="imeMode" value="on"/>
<arg key="class" value="common_class"/>
<arg key="style" value="common_style"/>
<arg key="maxlength" value="100"/>
<arg key="rows" value="10"/>
</args>
</elem>
```

チェックボックス [type : CHECKBOX]

属性値	設定値
label	チェックボックス用のラベルを設定します。
class	class属性の値を設定します。
style	style属性の値を設定します。

設定方法（例）

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="CHECKBOX">
<args>
<arg key="label" value="targetField"/>
<arg key="class" value="common_class"/>
<arg key="class_pc" value="pc_mode_class"/>
<arg key="class_sp" value="sp_mode_class"/>
<arg key="style" value="common_style"/>
<arg key="style_pc" value="pc_mode_style"/>
<arg key="style_sp" value="sp_mode_style"/>
<arg key="value" value="" />
<arg key="readonly" value="false"/>
<arg key="disabled" value="false"/>
</args>
</elem>
```



コラム

チェックボックス用のラベルはサーフィスキーキーを設定することで、画面表示時などにサーフィス変換して使用されます。

ラジオボタン [type : RADIO]

属性値	設定値
label	ラジオボタン用のラベルを設定します。
class	class属性の値を設定します。
style	style属性の値を設定します。

設定方法（例）

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="RADIO">
<args>
<arg key="label" value="targetField"/>
<arg key="class" value="common_class"/>
<arg key="style" value="common_style"/>
</args>
</elem>
```



コラム

ラジオボタン用のラベルはサーフィスキーを設定することで、画面表示時などにサーフィス変換して使用されます。

サーフィス [type : SURFACE]

属性値 設定値

class class属性の値を設定します。

style style属性の値を設定します。

設定方法（例）

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="SURFACE">
<args>
<arg key="class" value="common_class"/>
<arg key="style" value="common_style"/>
</args>
</elem>
```



コラム

表示されるサーフィスは、検索設定のサーフィスキーを使用します。

マスタ検索 [type : MASTER]

属性値 設定値

masterId マスタIDを設定します。

extensionId マスタ拡張IDを設定します。

searchType 検索タイプを設定します。設定値：[search / select]

viewName 表示フィールドのフィールド名を設定します。（主に名称フィールド）

criteria 検索条件（JSON形式）を設定します。

resultChain 対象選択時に連動する項目を設定します。

resultValue 対象選択時に本フィールドの「value」属性に設定するキーを設定します。

primaryTarget 未選択状態を判定するフィールドの「name」属性を設定します。

refreshTarget 再検索するトリガーとなるフィールドを設定します。

singleList 個別リストデータ生成有無を設定します。設定値：[true / false]

imeMode IME-MODEを設定します。設定値：[on / off / disabled]

class class属性の値を設定します。

style style属性の値を設定します。

設定方法（例）

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="MASTER">
<args>
<arg key="masterId" value="masterId"/>
<arg key="extensionId" value="extensionId"/>
<arg key="searchType" value="search"/>
<arg key="name" value="targetFieldCd"/>
<arg key="viewName" value="targetFieldName"/>
<arg key="criteria" value="{'code':'targetFieldCd','includeBlank':'false'}"/>
<arg key="resultChain" value="['targetFieldCd','code','targetFieldName','name']"/>
<arg key="resultValue" value="name"/>
<arg key="primaryTarget" value="targetFieldCd"/>
<arg key="refreshTarget" value="" />
<arg key="class" value="common_class"/>
<arg key="style" value="common_style"/>
</args>
</elem>
```

アイコン [type : ICON]

属性値 設定値

class	class属性の値を設定します。
style	style属性の値を設定します。
text	アイコン横の文字列を設定します。
sprite	アイコン用のCSSSpriteを設定します。
title	ツールチップの文字列を設定します。

設定方法（例）

```
<elem name="targetField" surfaceKey="targetField" type="ICON">
<args>
<arg key="class" value="common_class"/>
<arg key="style" value="common_style"/>
<arg key="text" value="text_surface_key"/>
<arg key="sprite" value="css_sprite"/>
<arg key="title" value="title_surface_key"/>
<arg key="readonly" value="false"/>
<arg key="disabled" value="false"/>
</args>
</elem>
```



コラム

アイコン横の文字列、ツールチップの文字列はサーフィスキーを設定することで、画面表示時などにサーフィス変換して使用されます。

検索設定項目値のコンバート

ReportBuilder定義の「検索設定」で指定可能なコンバート設定は次の通りです。
画面に入力した値を設定どおりにコンバート処理してDBに渡します。

設定値	解説
INT	数値(Int)へのコンバートを行います。
LONG	数値(Long)へのコンバートを行います。
DOUBLE	数値(Double)へのコンバートを行います。
SHORT	数値(Short)へのコンバートを行います。
FLOAT	数値(Float)へのコンバートを行います。
BIG_DECIMAL	数値(BigDecimal)へのコンバートを行います。

BIGINTEGER 数値(BigInteger)へのコンバートを行います。

TIME 時間へのコンバートを行います。

BOOLEAN booleanへのコンバートを行います。

CHAR 文字(Char)へのコンバートを行います。

TIMESTAMP タイムスタンプへのコンバートを行います。

DATE 日付(Date)へのコンバートを行います。

指定可能なジョブパラメータ

- エクスポートジョブで指定可能なパラメータ
 - ロック待ち時間 (lock_wait)
 - コンダクター (conductor)
 - エクスポートファイルパス (file_path)
 - エクスポート時の既存ファイル操作モード (file_mode)
 - エクスポートファイルのアーカイブ先パス (archive_path)
 - エクスポートファイルの文字コード (character)
 - エクスポートファイルの区切り文字 (delimiter)
 - エクスポートファイルの囲み文字 (enclosing)
 - エクスポートファイルのヘッダー出力有無 (header_row)
 - レポートID (reportId)
 - クエリーID (queryId)
- パラメータの優先度
- ファイルパスの置換文字列

エクスポートジョブで指定可能なパラメータ

エクスポートジョブでは、次のパラメータが指定可能です。

キー	値	設定	省略時
lock_wait	ロック待ち時間	任意	10 (秒)
conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクター	任意	
file_path	エクスポートファイルのパス	任意	kaiden/generic/report/{REPORT_ID}/export.csv
file_mode	エクスポート時の既存ファイル操作モード	任意	1
archive_path	エクスポートファイルのアーカイブ先パス	任意	kaiden/generic/report/{REPORT_ID}/export_{YMDHMSN}.csv
character	エクスポートファイルの文字コード	任意	UTF-8
delimiter	エクスポートファイルの区切り文字	任意	, (カンマ)
enclosing	エクスポートファイルの囲み文字	任意	" (ダブルクオーテーション)
header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無	任意	false (出力しない)
reportId	レポートID	必須	
queryId	クエリーID	必須	

ロック待ち時間 (lock_wait)

ロックキー「%ジョブID%_%レポートID%」でアプリケーションがロックされていた場合の待ち時間（秒）を設定します。

キー	lock_wait
設定	任意

設定値（省略時） 数値（10）

コンダクター（conductor）

ジョブの各処理間で実行されるコンダクターのコンポーネント名を設定します。

本パラメータは、カンマ区切りで複数指定可能です。

キー conductor

設定 任意

設定値（省略時） 文字列（未指定）



コラム

AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。

エクスポートファイルパス（file_path）

エクスポートファイルのファイルパスを設定します。

ファイルパスは、パブリックストレージからのパスを指定してください。

キー file_path

設定 任意

設定値（省略時） 文字列（kaiden/generic/report/{REPORT_ID}/export.csv）



コラム

「{REPORT_ID}」などの置換文字列の詳細は「[ファイルパスの置換文字列](#)」を参照してください。

エクスポート時の既存ファイル操作モード（file_mode）

エクスポート時の既存ファイル操作モードを設定します。

キー file_mode

設定 任意

設定値（省略時） 1～3（1）

設定可能なエクスポート時の既存ファイル操作モードと処理概要

モード 処理概要

1	既存ファイルを操作しない（追記）
2	既存ファイルを削除し、エクスポート
3	既存ファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート

エクスポートファイルのアーカイブ先パス（archive_path）

ファイル操作モードでアーカイブを指定した場合のエクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。

アーカイブ先ファイルパスは、パブリックストレージからのパスを指定してください。

キー archive_path

設定 任意

設定値（省略時） 文字列（kaiden/generic/report/{REPORT_ID}/export_{YMDHMSN}.csv）



コラム

「{REPORT_ID}」などの置換文字列の詳細は「[ファイルパスの置換文字列](#)」を参照してください。

エクスポートファイルの文字コード (character)

エクスポートファイルの文字コードを設定します。

キー	character
設定	任意
設定値（省略時）	UTF-8, SHIFT-JISなど（UTF-8）

エクスポートファイルの区切り文字 (delimiter)

エクスポートファイルの区切り文字を設定します。

キー	delimiter
設定	任意
設定値（省略時）	,,[カンマ], \t [タブ] (,)

エクスポートファイルの囲み文字 (enclosing)

エクスポートファイルの囲み文字を設定します。

キー	enclosing
設定	任意
設定値（省略時）	none,"[ダブルクオーテーション]" ("")

エクスポートファイルのヘッダー出力有無 (header_row)

エクスポートファイルの読み込み開始行数を設定します。

キー	header_row
設定	任意
設定値（省略時）	true, false (false)

レポートID (reportId)

エクスポートを行うレポートのレポートIDを設定します。

キー	reportId
設定	必須
設定値（省略時）	文字列

クエリーID (queryId)

エクスポートを行うレポートのクエリーIDを設定します。

キー	queryId
設定	必須
設定値（省略時）	文字列

パラメータの優先度

1. ジョブ（ネット）パラメータ
2. エクスポートジョブ設定
3. 初期値（省略時の値）

ファイルパスの置換文字列

各ファイルパスには次の置換文字列が使用可能です。
いずれも置換内容にあたる値が設定されていない場合は置換処理を行いません。

置換文字列	置換内容
{YMD}	「yyyyMMdd」形式のジョブ実行日時
{YMDHMSN}	「yyyyMMddHHmmssSSS」形式のジョブ実行日時
{JOB_NET_ID}	ジョブネットID
{JOB_NET_NAME}	ジョブネット名
{JOB_ID}	ジョブID
{JOB_NAME}	ジョブ名
{REPORT_ID}	レポートID
{QUERY_ID}	クエリーID

ドリルダウン

ReportBuilder定義で、ドリルダウンするレポートを指定した場合、次の通り動作します。

1. 「組織別休暇取得日数合計」を例に説明します。
「組織別休暇取得日数合計」を表示して、検索結果をクリックします。

組織別休暇取得日数合計							
条件設定		エクスポート					
No	会社	組織	休暇種別	休暇取得日数合計	休暇取得時間合計	所属人数	平均休暇取得日数
1	サンプル会社	サンプル会社	有給休暇	1		1	1
2	サンプル会社	サンプル課1 1	有給休暇	3		2	1.5

2. クリックした行の「会社」、「組織」、「休暇種別」を検索条件として絞り込んだ、「従業員別休暇取得日数合計」が表示されます。

従業員別休暇取得日数合計

← 条件設定 エクスポート

クエリー	<input type="text"/>	パブリッククエリー
検索基準日	<input type="text" value="31"/>	
会社	サンプル会社	
組織	サンプル課 1 1	副所属も含む
従業員	<input type="text"/>	
休暇取得日	31 以後	31 より前
休暇種別	有給休暇	
休暇取得日数合計	<input type="text"/> 以上	<input type="text"/> 未満
休暇取得時間合計	<input type="text"/> 以上	<input type="text"/> 未満
表示項目	会社コード ユーザコード 休暇種別コード	会社 従業員 休暇種別 休暇取得日数合計
表示件数	50件表示	
ソート順1	会社コード	昇順 <input checked="" type="radio"/> 降順 <input type="radio"/>
ソート順2	ユーザコード	昇順 <input checked="" type="radio"/> 降順 <input type="radio"/>
ソート順3	休暇種別コード	昇順 <input checked="" type="radio"/> 降順 <input type="radio"/>
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="クエリー保存"/>		

No	会社	従業員	休暇種別	休暇取得日数合計	休暇取得時間合計
1	サンプル会社	青柳辰巳	有給休暇		2
2	サンプル会社	大庭博文	有給休暇		1

i コラム

ドリルダウン元の一覧設定の項目名が、ドリルダウン先の検索設定の項目名と一致する場合、ドリルダウン元の値がドリルダウン先の検索設定の各項目に設定されて検索を実施します。

一覧設定項目値のコンバート

ReportBuilder定義の「一覧設定」で指定可能なコンバート設定は次の通りです。

DBから取得した値をコンバート処理して画面に渡します。

設定値	解説
COMMA	金額のカンマ区切りのコンバートを行います。
DATE_SIMPLE	「yyyyMMdd」形式へのコンバートを行います。
DATE_SLASH	「yyyy/MM/dd」形式へのコンバートを行います。 日付型の項目でコンバートの指定がない場合、「yyyy/MM/dd」形式へコンバートされます。
TIMESTAMP_HM	「yyyy/MM/dd HH:mm」形式へのコンバートを行います。
TIMESTAMP_HMS	「yyyy/MM/dd HH:mm:ss」形式へのコンバートを行います。
TIMESTAMP_HMSS	「yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS」形式へのコンバートを行います。

2.0.12以前のバージョン(SAStruts+S2JDBC)から2.0.13以降のバージョン(SpringMVC+Mirage-SQL)へアップデートする際の注意点

概要

2.0.12以前のバージョン(SAStruts+S2JDBCの開発モデル)から2.0.13以降のバージョン(SpringMVC+Mirage-SQLの開発モデル)へアップデートする際の注意点を説明します。

カスタマイズしたReportBuilderをアップデート後も使用する場合、当項に従い修正してください。

ReportBuilder定義

カスタマイズしたReportBuilder定義の修正方法を説明します。

拡張設定

拡張設定に、標準で提供しているJavaクラス、SQLパス、JSPパスを設定している場合、次の通り修正してください。

- **Javaクラス**
「jp.co.slcs.kaiden2.」の部分を「jp.co.slcs.kaiden.v2.」に変更してください。
- **SQLパス**
「META-INF/sql/jp/co/slcs/kaiden2/」の部分を「META-INF/sql/jp/co/slcs/kaiden/v2/」に変更してください。
- **JSPパス**
「/WEB-INF/view/kaiden2」の部分を「/WEB-INF/views/kaiden/v2」に変更してください。

検索用SQL

検索用SQLをカスタマイズしている場合、次の格納先にSQLを移動してください。

ReportBuilder定義の拡張設定にSQLパスを設定している場合、格納先の移動は不要です。

%ModuleProject%/src/main/resources/META-INF/sql/jp/co/slcs/kaiden/v2/generic/report/%レポートID%.sql

(レポートIDには、ReportBuilder定義で設定したレポートIDを指定してください。)

動作確認

カスタマイズしたReportBuilderの動作を確認する場合、メニューのURLを「kaiden/generic/report」から「kaiden/v2/generic/report」に変更してください。

ReportBuilder定義の拡張設定にControllerクラス(URL)を設定している場合、URLの変更は不要です。

Java、JSPソース

Java、JSPソースを拡張している場合、『[intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド](#)』の「カスタマイズ時の注意事項」を参照して修正してください。